

▼有田コンピュータの目的▼

有田コンピュータは「IT事業を通じ地域に貢献する事」

「顧客のパソコンによる業務改善を追求し、互いに利益を創り出し発展していく事」を目的として活動しています。

パソコンが遅くなる理由



最近、使っているPCが遅くなったなあ……などと感じたことはありますか？

パソコンも長年使っているうちに蓄積されたデータの量やメモリの残量などの様々な理由によって、パフォーマンスに変化が出てきます。

遅くなる原因は主に以下の3つが考えられます。

メモリ

パソコンが遅い要因に、「メモリ不足」があげられます。パソコンはメモリの範囲の中で指示やデータのやりとりをしています。

その量を越えて作業をしようとする、メモリで処理できない分を直接ハードディスクに頼ろうとします。ハードディスクは読み出し速度が遅いため、その分パソコンの動作も遅くなってしまいます。

●メモリの総量を増やす

現在のメモリ量とパソコンのスペックを確認し、メモリの増設が可能な分を取り付けます。

パソコンの内部の作業になりますので一度ご相談下さい。

●アプリケーションの同時起動はなるべく行わない

アプリケーションソフトが同時に立ち上がっていると

その分メモリを消費し動きは遅くなります。

終了させてもよいソフトは終了させるようにしましょう。

ハードディスク (HDD)

ハードディスクは、パソコンのデータを保存しておく場所です。

メモリよりも大容量ですが、データを取り出すのにアクセス時間が必要になります。

●ハードディスクを整理する(デフラグ)

データを保存したり消したりしていると、情報が飛び飛びに書き込まれるようになります。その分アクセスに時間がかかるようになります。

「プログラム→アクセサリ→システムツール→ディスク デフラグ」でツールを起動させて診断をします。大容量のHDDではかなり時間がかかります。時間の余裕のあるときに実行しましょう。

ウイルス

急にパソコンの動きが遅くなった、ある日突然起動時間が遅くなったなど、パソコンの動作が不可解なときはスパイウェアの侵入やウイルス感染が考えられます。侵入・感染していないか確認しましょう。

●ウイルス対策をする

手口は似ていても日々新しいウイルスが発見されています。

すでにウイルスバスターや予防ソフトをパソコンにインストールしている人も、ソフトウェアのアップデートを定期的に行いましょう。

古いソフトでは新手のウイルスに対抗できない場合があります。

ウイルス対策ソフトは最新版をインストールするようにしましょう。

編集者より：パソコンのメモリを増やしたいなどご要望などがありましたら
お気軽に有田コンピュータスタッフにご相談下さい。